

CSPC Pharm (1093 HK)

中国 / 医療とヘルスケア / 企業レポート

2014年10月10日

確かな入札経過が成長を支える

- 14年度第3四半期の主要な医薬品の入札経過は良好
- 全体の利益予想は概ね据え置いたが、革新薬/ブランド薬の14年度/15年度のEBIT予想は1%/3%引き上げた
- コアの純利益予想の3年間の年平均成長率は37%



予想の修正 (%)

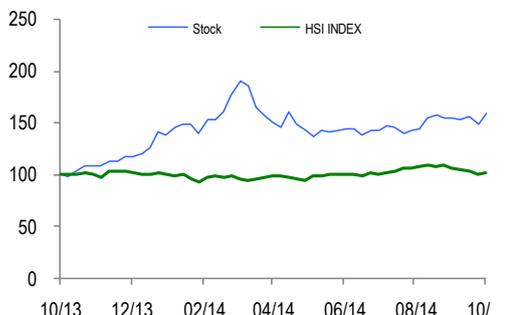
12月31日決算	14年度予想	15年度予想
売上高の変更	1.7	2.0
純利益の変更	0.3	0.2
EPSの変更	(1.5)	(1.8)

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	8.49 / 4.18HKドル
30日間の1日平均出来高	49.06 Mn
発行済み株式数	5,908.02 Mn
時価総額	40,765.32 Mn

主要株主 Legend Holdings (51.25%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	2013年度	2014年度 予想	2015年度 予想	2016年度 予想
売上高(100万HKドル)	9,949	10,996	12,523	13,354
伸び率 (%)	140	11	14	7
純利益(100万HKドル)	973	1,278	1,744	2,108
伸び率 (%)	(55)	31	37	21
EPS (HKドル)	0.175	0.216	0.291	0.346
伸び率 (%)	(88)	24	34	19
PER (x)	39.5	31.9	23.7	20.0
DPS (HKドル)	0.080	0.097	0.131	0.156
イールド (%)	1.2	1.4	1.9	2.3

出典: 会社データ、京華山一予想

最新情報

当社は、CSPCの主な医薬品の14年度第3四半期の入札経過を詳細に調べた。

当社の見方

14年度第3四半期の入札経過は良好: (i) 14年度第3四半期に重慶、安徽、海南など入札を実施する省が増えた。入札の実施ペースは総じて14年度上半期に比べて加速した。(ii) CSPCは実施された入札の全てに参加し、落札した。(iii) CSPCはOulainingとDuomeisuを除く主な医薬品ラインで独占状態にあることから、入札価格はこれまでのところ安定している。

革新薬/ブランド薬について楽観的な見解を強める 当社は、省による入札の増加の好影響が15年度を通して見られると考えている。そのため、当社はNBP/Oulainingと腫瘍治療薬の14年度/15年度のEBIT予想をそれぞれ2%/4%、2%/2%引き上げた。しかし、XuanningのEBIT予想については3%/4%引き下げた。当社の修正後のモデルにおける革新薬/ブランド薬のEBIT予想の3年間のCAGR(年平均成長率)は35.4%であり、14年度/15年度のEBIT予想については1%/3%上方修正した。

その他の部門の業績はまちまち CSPCは売上高の伸びを犠牲にして収益性を改善する意向であることから、当社は一般ジェネリック薬の14年度/15年度のEBITマージン予想を1%/1%引き上げた(EBIT予想自体は売上の伸びの減少のため1%/5%引き下げた)。カフェインについては、市場での競争が懸念されることから14年度/15年度のEBIT予想を26%/25%引き下げた。その一方で、抗生物質は良好な回復傾向にあることから、当社はその傾向が15年度も続く予想している。

純利益予想をほぼ据え置く、コアの純利益の年平均成長率は37%を見込む 当社は、14年度/15年度の純利益予想を小幅だが0.3%/0.2%引き上げた。その一方で、革新薬や抗生物質部門が牽引役となっていることから、利息収入といった雑項目を除いた14年度/15年度のEBIT予想を共に3%引き上げた。当社の修正後のモデルにおける純利益(売却益を除く)予想の3年間の年平均成長率は37%である。

免責条項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィック・グループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。